

あ お ぞ ら

【第122号】 平成27年 夏季号

発行日 2015年6月20日

協力：朗読ボランティア 《ういろいろの会》



平成27年度 総会・懇親会開催

平成27年5月24日（日）午前10時より三鷹市福祉会館において、NPO法人みたかハンディキャブ平成27年度 総会を開催いたしました。正会員出席36名・委任状26名で定数を満たし、総会は成立しました。

総会に先立ち、最初に宮田栄一理事長より開会の挨拶があり、活動37年を迎えることができたこと、ボランティアセンター建て替えに伴う事務所移転の大事業を無事終えることができたことなど、日ごろの三鷹市をはじめ、関係各位、ボランティアの皆さんのご支援ご協力によるところであると、深い感謝の意が述べられました。また今後も安全安心な運行を励行するとともに、利用者の皆さん、ボランティアの皆さんによりよい環境作りを進めていくとの意向が述べられました。

その後、清原市長代理の伊藤幸寛健康福祉部部長、三鷹市社会福祉協議会・吉野壽夫会長から、それぞれ、ハンディキャブが37年を迎えたことのお祝い、日ごろの活動に対する、感謝のご挨拶を頂きました。特に伊藤健康福祉部部長からは、「ハンディキャブの事務所のあった上連雀分庁舎（仮称）の建て替え工事も、完成にはあと1年半ほどかかり、不便をおかけする。三鷹市の高齢化率も21%をこえ、障がい者を抱える家庭も多いことから、ハンディキャブの活動の重要性も増すことになる。したがってハンディキャブの自主性を尊重しつつ、協力しあう「パートナーシップ協定」を市とキャブで結ぶ相談をしている。市として単に補助金だけでなく、そうした三鷹市民の移動の支援をするにあたって様々な協力・相談をしたい。今後順次打ち合わせをしていくとの意向が示されました。

その後総会に入り、議長に阿部政昭氏を選出し、宮田理事長から、26年度の活動報告・27年度活動計画の説明がありました。質疑応答があり、議案が採択され、無事総会を終了いたしました。午後からは多くの御来賓・利用者さんの出席のもと盛況のうちに懇親会を終わることが出来ました。



この度みたかハンディキャブの草創期をについて、賛助会員の松田重幸さんから、貴重な原稿を頂きましたので、掲載させていただきます。

三鷹市ハンディキャブ発足について……………松田 重幸

昭和 54 年 7 月 3 日、日本テレビのチャリティ番組『愛は地球を救う』よりハンディキャブが 1 台贈られました、贈呈式は福祉会館前で長男がテレビ関係者にお礼の言葉を申し上げ贈呈されたハンディキャブで市長さんと障害の老婦人と長男と家内と乗車して市役所を 1 周し大勢の参加者に拍手をいただきました。

民間ボランティアグループへの贈呈はこれが初めての事のように思いました。昭和 53 年 10 月 29 日第 1 回三鷹市障害者運動会が終了後、遠藤さんが何とか三鷹市に障害者の足となるハンディキャブを得たい気持ち一杯の心から多くの皆様方の応援を求めたいと言う好意のもと、長男もこれに賛成、障害者も積極的に外へ出られる手段の声を大にして求めていたため遠藤さんに協力して家内と共に日本テレビにてハンディキャブを是非三鷹市に頂きたいと願ったのです、このボランティア運動を広めるきっかけを作ったのは遠藤和夫、翠夫妻、新宿にある私立施設「新宿福祉の家」でこの活動を知り三鷹市にも、と市や各方面に呼び掛けたのです。この施設より黄色の車椅子 1 台乗りのハンディキャブを借りて三鷹市で初めての運行は遠藤さんの運転で 53 年 12 月 17 日府中市紅葉が丘文化センターにて障害者クリスマス会に行く時乗車しました、当時はタクシーには障害者が車椅子での利用は中々困難でしたのでこのハンディキャブは嬉しい限りでした。

温かい協力的なボランティアのお蔭で三鷹市にもハンディキャブが運営され、お陰様で長男はこのハンディキャブにて美術館や音楽会、将棋大会それに養護学校や定期健診、同窓会など、に行く事が出来て幅広い行動が可能となり、障害者の人達に明るい希望が持てるようになりました、これも遠藤さんご夫妻、当時の委員長の只野さんのお蔭と感謝しております。このハンディキャブが今日まで多くのボランティアの援助によって障害者の方の足となり喜びを与えている現状に亡くなった長男は喜んでる事と思います。

昭和 56 年には 2 台目のハンディキャブを日本テレビより贈呈され長男が福祉会館の前での贈呈式にてお礼の挨拶をする約束をしていましたが亡くなったので、代わりに家内がお礼を申し上げました。心よりの感謝でした。

当時はまだ障害者に対してのあらゆる認識が薄かった時代ですが遠藤ご夫妻の将来を見込んだ運動が花開いた事に障害者の親として本当に感謝です。

それと共に障害者の方々にこのハンディキャブを大いに利用され少しでも豊かな人生にして頂きたく願っています

このハンディキャブを運営するボランティアの関係者の皆様に感謝の気持ち一杯です長男が夢みた障害ある人達にも行動できる足ハンディキャブの運営のご活躍に大きな喜びと感謝で天より見守っている事と信じております。



左から望月、遠藤、小松、只木さん、右は利用者のお母さん



キャブのバックにはリフトが付いているから、乗る人も乗せる人も安全でラクラク

ボランティア
——人のためではなく、自分のために
車椅子を乗せ、どこまでも
三鷹市のハンディキャブ運転
ボランティアの皆さん

この写真は昭和 55 年 12 月雑誌「家庭画報」に載った物です、文章は割愛します、左の写真は左から望月さん、遠藤さん、小松さん、会長の只野さん、右端は家内です、右の写真は長男が乗車中の写真です。

このほど長らく大阪に赴任していたボランティアの加持真人さんが東京に戻ってきました。キャブに復帰するに当たり一文を寄せられました。

キャブに復帰して思うところ……………加持真人

久しぶりにキャブに復帰して思うところ、この4年間でNPO法人らしくなってきて頼もしく思います。福祉有償運送を分解すると福祉＝ボランティア精神、有償＝プロ的な考え方、運送＝道路交通法、危険作業、高度な作業等といったキーワードが浮かびます。更にキャブの場合、ボランティア組織でありながらNPO組織に属していると認識する人と完全ボランティアと認識する人の両方が混在するようになってきたと思われる。そのようなことから当初キャブに入りたての頃とは異なった雰囲気を感じています。組織の主体、運営する人間も変化するものでありそれに従って組織そのものの在り方も変化するものではないでしょうか。何が正しいとかいうことはないと思いますが個人的には居心地の良い組織でいてほしいと考えています。そもそもボランティア活動をしたと思ったきっかけはなんだったのだろう。急逝した父親に親孝行できなかった後ろめたさか、あるいは定年後の第二の職場を求めてのことだったか、単に体の不自由な方や高齢者に興味があったのか、どうもはっきりしない。はっきりしないから確たる信念を持って活動ができないているのかもしれない。いつも利用者さんに接するとき心の底から利用者さんのことを考えて行動しているのか、学芸会のお芝居をしているのかわからなくなることがある。利用者さんにとってはなはだ迷惑なことだとは思いますが、どうにも答えが見つけれずに日々悶々としている。

最近になって近しい人が要介護や体の不自由を訴えるようになり、自分に何ができるのか、どうすればより好ましいのか真剣に考えなければならないところまで来ている。という間に自分にもガタがきているようになった。

この頃は福祉有償運送の車も以前より多く見かけるようになった。キャブの在り方も変える必要があるのかもしれない。



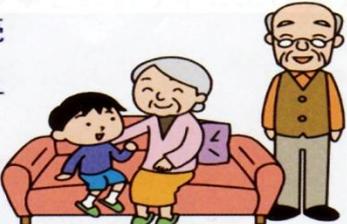
神代植物公園のバラ

株式会社 サカイ・ヘルスケア

私たち毎日の生活を支え、人を明るくする
元気にする福祉用具を提案します。

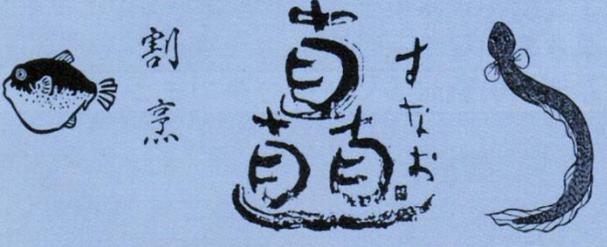
- 福祉用具販売
- 住宅改修
- 福祉用具貸与

定休日
日曜・祝日
年末年始



<サカイ・ヘルスケア三鷹店>
三鷹市下連雀9-3-15
Tel 0422-42-6811 Fax 0422-41-2722

ふぐ・うなぎ・一品料理



割烹 旬 旬

《大小宴会・慶祝・佛事にご利用ください》

定休日、毎週水曜日

☎/FAX 0422-79-3568

三鷹市野崎1-22-17(野崎交差点際)

みたかハンディキャブ・スローガン

真心と笑顔で走る「あおぞら号」

平成27年度のみたかハンディキャブの運営体制

総会において27年度の役員体制について基本的には26年度に引き続き、次のように確認されました。ただし、26年度役員のうち、鎌形忠五氏・菅野邦久氏が退任されることになりました。

理事長	宮田 榮一	総務部担当副理事長	吉野 正
運行部担当副理事長	東垣 隆満	広報交流部担当副理事	野本 信治
理事	須山 正人	水流 ゆかり	桑原 正男
	平 智享	今井 美江	佐藤 隆志
	戸内 大介		
監事	伊藤 五十鈴	坂東 日出彦	

日帰り交流会の日程決定……………10月25日(日)

本年度の日帰り交流会の日程が10月25日(日)決まりました。9月25日までに市に参加者名簿を提出しなければなりません。9月初旬にあらためてご案内を差し上げますので、奮ってご応募ください。なおご希望の行く先があれば、交流部までご意見をくださいますようお願い申し上げます。

編集後記

平成27年夏季号をお送りします。

東京は5月で3日も真夏日となり、暑い夏を迎えようとしています。皆様には、体調をくずさぬようご自愛ください。

皆様のご協力、ご理解のもとに5月24日には、無事総会を終えることができました。また新事務所での活動にもようやくなれてまいりました。このところ、利用會員の増加が著しいのですが、皆様のご要望にお応えできるよう、努力いたしますので、よろしく願い申し上げます。 T

発行

NPO法人 **みたかハンディキャブ**

〒181-0013

三鷹市下連雀8-6-15-404

TEL 0422-41-0185

FAX 0422-41-0274

E-mail : mcab3@jcom.zaq.ne.jp

ホームページ : [みたかハンディキャブ](http://mitaka-handicap.jp)

名刺・はがき・封筒・
チラシ等の印刷
(データ持込可)
印章・各種ゴム印
ラミネート加工等
全てがスピード対応!!

とにかく便利なお店です。
是非一度ご来店ください。
<http://seibundo-n.com>

文具・事務用品

誠文堂



TEL : 042-422-9447
西東京市谷戸町2-9-3

